

第5号様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	清須市子ども・子育て審議会
開 催 日 時	令和元年5月22日（水）午前9時30分から11時45分
開 催 場 所	清須市役所 南館3階 大会議室
議 題	1 開会 2 あいさつ 3 委嘱状伝達及び委員紹介 4 会長・副会長の選出 5 議事 【協議事項】 (1) 子ども・子育て支援事業計画策定について (2) 保育所入所調整について 6 その他 7 閉会
会 議 資 料	会議次第 資 料 1 第二期子ども・子育て支援事業計画策定について 資 料 2 保育所入所調整について 参考資料 清須市子ども・子育て審議会条例
公開・非公開の別(非公開の場合はその理由)	公開
傍 聴 人 の 数 (公開した場合)	0名
出 席 委 員	時田委員、村瀬委員、日下部委員、太田委員、松川委員、中道委員、牛田委員、木下委員、建部委員、原田委員、中田委員、伊藤委員、小原委員
欠 席 委 員	櫻井委員、三輪委員、谷委員、堤委員、堀田委員
出 席 者 (市)	河口健康福祉部長、石黒学校教育課長、坂下健康推進課係長
事 務 局	加藤次長兼子育て支援課長、齋藤主幹、寺社下主幹、犬飼課長補佐、林係長、鶴田主査
会議録署名委員	村瀬委員、日下部委員

1 開会

● 事務局

おはようございます。

本日は、お忙しいところ、会議にご出席いただき誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、ただ今から「令和元年度第1回清須市子ども・子育て審議会」を開催させていただきます。

私は本日の進行役を務めさせていただきます、子育て支援課の加藤です。よろしくお願

たします。

会議に入る前に、委員の皆様にあらかじめご承知して頂く事項として、清須市では「附属機関等の会議の公開に関する要綱」を定めており、個人情報などの非公開という扱いをしているものを除き、原則公開することになっています。

従いまして、本会議及び会議録は公開とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日は、傍聴者の方はお見えになりません。それでは、次第に沿って進行させていただきます。

着席させていただきます。

2 あいさつ

● 事務局

次第2の「あいさつ」になります。

清須市健康福祉部長河口よりご挨拶申し上げます。

○ 河口健康福祉部長

皆様おはようございます。健康福祉部長の河口です。本日は令和元年度に入り第1回目の子ども子育て審議会ということでご出席賜り誠にありがとうございます。日頃から子ども・子育て支援をはじめ、市政の各方面に渡りましていろいろとお力添えをいただいております。この場をお借りして厚くお礼を申し上げたいと思います。平成30年の4月に、子育て支援課と健康推進課とで開設しました子育て世代包括支援センターの開設から1年が経過しました。昨年度はあらゆる機会をとらえ周知し、おかげさまで相談件数も増加している状況です。安心して妊娠、出産、育児ができるよう、妊娠前から子育て期に渡り、切れ目のない支援を引き続いて努めてまいりたいと考えております。

本日の議事は2点用意しております。限られた時間ですが、多くの皆様の活発な意見を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

● 事務局

ありがとうございました。

次に、本会議は、「清須市子ども・子育て審議会条例」に基づき開催しており、お手元の『参考』資料にて簡単に会議内容を説明させていただきます。

A4の『参考』資料をご覧ください。

第1条の「設置」では、当審議会は、「子ども・子育て支援法」に基づき設置しております。

次に、第2条「所掌事務」の第1号で、「子ども・子育て支援事業計画に関すること」としており、現行計画につきましては、平成27年3月に作成しており、新たに委員になられた方には席に配布させていただきました。

第2号では、「児童福祉施設の管理運営に関すること」になります。

次に、第3条「組織」では、委員は30人以内としており、市長が委嘱し、第3項で、任期を1年としております。

第4条で、審議会には会長及び副会長をそれぞれ1名置くこととしており、選出方法については、「委員の互選により定める」としております。

第5条「会議」の第3項で、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開き、議決することができないとなっております。

本日は、「櫻井委員」、「三輪委員」、「谷委員」、「堤委員」、「堀田委員」の5名の方が、所用のため欠席されていますが、委員の過半数以上の方のご出席をいただいておりますので、この会議は成立していることをご報告いたします。条例内容については、以上でございます。

3 委嘱状伝達及び委員紹介

● 事務局

次に、次第3の「委嘱状伝達及び委員紹介」になります。

委嘱状につきましては、本来、市長からお一人おひとりにお渡しするところでございますが、時間の都合上、あらかじめ自席に置かせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

また、委員紹介につきましても、お手元に配付の委員名簿及び席次表にて代えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

4 会長・副会長の選出

● 事務局

次に、次第4「会長・副会長の選出」になります。

会長は、条例第4条第2項の規定により委員の互選となっております。如何いたしましょう。

(「事務局一任」の声)

「事務局一任」のお声がありました。宜しいでしょうか。

(「異議なし」の声)

ありがとうございます。

「異議なし」のお声を頂きましたので、事務局案として、会長には、『清須市社会福祉協議会』会長の時田委員、副会長には、『保育園保護者会』会長の西川委員にお願いしたいと考えております。委員の皆様が宜しければ、拍手にて賛同をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございます。時田委員、西川委員、宜しいでしょうか。

(両委員了解)

それでは、お二人の委員におかれましては、会長席、副会長席に移って頂くようお願い致し

ます。

それでは、会長から、ひと言ご挨拶をお願いいたします。

○ 時田会長

改めまして、皆様おはようございます。

只今ご指名を頂き、審議会の会長職を務めさせていただきます、社会福祉協議会会長の時田でございます。どうぞ宜しくをお願いいたします。

皆様、新聞ニュース等でご存知とは思いますが、この10月から幼児教育・保育の無償化が始まる予定です。また、今年度は、子ども・子育て支援事業計画の策定の年となっており、年5回の審議会が行われると聞いております。保育・子育て支援の更なる充実を図っていくための重要な会議です。皆様の忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

今回は、事務局から協議事項が2点議題として上がっており、皆様にご審議頂きたいと思えます。円滑に議事を進行できるよう努めてまいりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

● 事務局

ありがとうございました。

5 議事

● 事務局

それでは、次第5の「議事」に入らせていただきます。

議事進行につきましては、「条例第5条第2項」の規定により会長が議長を務めることになっておりますので、時田会長よろしくをお願いいたします。

○ 時田会長

それでは、規定に基づき議事進行を務めさせていただきます。

始めに本日の会議の会議録署名委員をお願いしたいと思います。署名委員には、村瀬委員と日下部委員をお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

(委員了承)

それでは、議事に入りたいと思います。【協議事項】(1)の「子ども・子育て支援事業計画策定について」事務局から説明をお願いいたします。

(【協議事項】(1)について事務局説明)

○ 時田会長

ありがとうございました。

ただ今、事務局から【協議事項】(1)について資料に沿って説明をいただきました。今の

説明の中で何かご意見、ご質問がありましたら、挙手をお願いします。

学校の先生を代表して伊藤委員、ご意見がありましたらお願いします。

○ 委員

西枇杷島小学校の伊藤と申します。よろしく申し上げます。

保護者の中で、毎日の育児で疲れているなど思う方がおり、そうした方は近所でも孤立、或いは親類などが近くにいないのではないかと思います。そのような方の心配や不安をアンケートの中で調査をしていただきたい。それと同時に、どこに相談をしたらいいのか、どのようなサービスを受けられるのかをご存知ない方もあります。市の方でもサービス等の周知はされていると思いますが、そのような保護者は毎日の生活に追われており余裕がないため、広報等落ち着いて見られるような時間も無いと思います。相談先などの情報を学校で配布するなど、学校としても協力していきたいと思います。本当に必要な人へ伝わるように周知の方法の工夫ができればと思っています。

○ 時田会長

ありがとうございます。学校を代表してご意見を頂きましたけれども、他にはいかがでしょうか。

○ 委員

前回の計画の中に、現状の課題のまとめと今後の方向性というのがあります。親を育てるということ、質の高い幼児教育保育、家庭と幼保少の連携などが現状の課題となっていますが、それらが第2期の子ども・子育て支援事業計画にどのように活かされているのかをお聞きしたい。子どもを育てるということは親を育てるといったことと思いますが、育児の不安・ストレスを拾い上げられるような項目があるといいと思っています。小学校や幼稚園へ入るまでの家庭での教育・保育の準備状態が、各家庭においてかなり差があります。経済的なものやコミュニティーにおける質であったり、色々あると思うが、そこをどう支援していくのか。そこをしっかりと支援をすれば、幼稚園や学校へ入った時の個々の対応が違ってくるのでは？今、世界中で保育の質が大事と言われているが、何なのかというものは明確にはなっていないように思います。言われているのは、行動的な部分や保育者の教育の程度や制度・体制などです。もっと考えると、子供と保育者とのかかわりの部分、どれだけ子ども達の主体性を引き出すかという質の部分もすごく大事だと思うが、清須市では保育の質をどう考えているかをお聞きしたい。

○ 時田会長

ありがとうございました。今のご意見について、事務局の方で前回作成した計画内容と、今年のアンケートの内容、行政の考えなど、分かる範囲内でお答えください。

● 事務局

貴重なご意見ありがとうございました。伊藤委員、小原委員の方からご意見を頂きましたことについて、ご説明をさせていただきます。

保育の質につきまして、保育指針も新たなものになり、保育内容が大きく変わってきている現

況です。本市では、今現在公立の保育園が13園と、平成28年度から開園の認定こども園が1か所あります。この会議の中でもご審議いただいておりますが、来年度については一場保育園が民営化され認定こども園へ移ります。今は保育園だと保育のみになりますが、認定こども園になると幼稚園、保育園機能を併せ持つということになります。現在は、多様化する保護者の方々のご意見に対応できる形体制づくりを進めるとともに、併せて、質の向上についても職員の研修等を行うなどスキルアップに繋がる取り組みを行っています

学校との連携については、私共も何かあればいつも学校と連携をしておりますが、今後も、目に見えるようにしっかりと体制づくりをしていきたいと思っております。

親の育児不安については、核家族化や就労形態の変化などで育児に関する心配が多くあると思っております。その対策として、まずは平成29年度に、子育て支援課の中に色々なご質問に対してご案内できるコンシェルジュを1名配置し、また、平成30年からは子育て世代包括支援センターとして、健康推進課に母子保健コーディネーターを配置するなど、母子手帳を取りに来られた方の相談を受け、切れ目のない支援をしています。引き続き、色々な関係部署との連携を取りながら、お母さんが安心して生み育てられる体制づくりに努めてまいります。

○ 時田会長

ありがとうございました。

○ 委員

子育てボランティアふぁにいマンマの中田繁美と申します。よろしく申し上げます。

子育てボランティアなので子育てに関する活動をしてはいますが、この頃子育てに関する活動やイベントの募集をしてもなかなか人が集まらず、また、放課後児童教室の指導員もやっていますが、イベントなどを知らなかったということが多くあります。

いろいろな悩み等をイベント会場で話し合えたら一番良いと思うので、身近なところから声を掛けて協力していきたいと思っております。

0歳児の保護者の方に、働いていないだろうという予測のもとに声を掛けるが忙しい様子、また、2歳ぐらいのお子さんを持つお母さんは働いており、子どもは保育園へ行き、子育てよりも働きたいという人が増えてきていると思っております。3歳まではしっかり見てあげてほしいと思っております。

市役所の方々も一生懸命やってくさっている中、私達もボランティアとして身近な人への声掛けをしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○ 時田会長

ありがとうございました。

○ 委員

いつも大変お世話になっております。子育て支援者の原田です。

今、話を聞きまして、本当に行政が丁寧に市民と向き合ってきているということに、いつも感心しています。行政だからできること、行政しかできないこともあると思っておりますが、ボラ

ンティアだからこそこできることもあるので、今日のような機会に私達の活動と少し連携できるところと思ってお話させていただきます。

私達はボランティアなので、なるべく子どもやお母さんの近くにいること、常に声を聞くということをやってきました。お母さん達にして欲しいこと・困っていることを聞いた時、たくさんの声があったので、それを表にして母の悲鳴というのを書きました。自分の時間がない、自分も叱られてばかりいるから子どもも叱ってしまう、育児がわからない、子どもを愛するということが分からない、という本音の部分の話が出ました。そこへ集まってきたお母さん同士がお互いに気持ちを話し合い、私だけじゃない、参考になることは私もやってみようかなということが多かったです。相談を聞きますから来てくださいと言っても来ない、お部屋に行きますという段階ではもう遅い。なるべくお母さん達が集まった中で、普段の生活をお互いに共感し合う場所が必要で、お母さん達の自分の時間が欲しい、私のことも分かって、という悲鳴も聞きます。

大切な時の子供のかかわり方がわかっていない。私達も親育ての活動を10年ぐらい前からやっていて、PTA活動の中にも取り入れています。ワークショップでお母さん方がお互いに話し合う場を作ってから、結構満足していただけて、すこし楽になったという話もありました。

行政の行うアンケートだけでなく、私達はもっと気楽にどんなことに困っている・どんなことをして欲しいなどのアンケートを取りました。まず、お母さん達が置かれている状況や気持ちを知るところからやっています。親に寄り添う、親の言い分を聞いてあげることが大事です。

PTAの親の学びに行った際、PTA会長会議だったため、ほとんどがお父さん達でした。そこでお母さん達の悲鳴について話すと、父親の言い分も言う機会がないということでした。父親の意見、母親の悲鳴や気持ちを聞きながら、親に寄り添いながら、お母さん達のニーズに合うことで役に立ちたいと思います。

DVや虐待の事件について、そうなる前の段階で、地域でできることがないか、様子を見たり声をかけることがいかに大事かということかと思っています。こういう会議にいつも私達ボランティアやお母さん方も呼んでいただいているので、なるべく意見交換ができ、少しでも地域に根付いた活動をしていきたいと願っています。

○ 時田会長

ありがとうございました。

○ 委員

建部と申します。清須市で親子ふれあい広場というのをやっています。

今の話に関連しますが、親を育てるということが一番子どもの虐待等を防ぐことになると思います。親を育てることは、子どもさんができてからではなく、できる前の妊婦の時には、子どもさんへの接し方等がわからないと思うので、特に初めてのお子さんを持つ方にはぜひ子育てネットワークへ出席してもらいたいのではないのでしょうか。小さいお子さんも参加するので色々なことが分かるし、お母さん方の子育ての大変さも話し合う場を設けています。また、健康推進課の方々と一緒に行っていくといいのではと思っています。

○ 時田会長

ありがとうございました。ボランティアの方達が行っている事業内容についてどのように周知し参加してもらうかという内容のご意見がありました。多くの方々が行政やボランティアの方達と、繋がっていただければと思いますので検討をよろしく願いいたします。

○ 時田会長

その他何かご意見ございますでしょうか。質問もないようですので、次の議題に移ります。続きまして、議題2の保育所入所調整について事務局から説明をお願いします。

（【協議事項】（2）について事務局説明）

○ 時田会長

只今、事務局の方からの議題の説明が終わりました。これについて何か質問・ご意見がございましたらよろしく願いいたします。

○ 委員

芳野保育園で保育園保護者会の西川です。お願いします。

今、私の子どもを預けている園で、片道30分かけて通うお母さんや、お子さん3人を預けている中で3人とも別々の園へ預けて子育てをしているお母さん方もいます。

指数を順番に優先度の高い方から希望の園へ入れていくという基準は必要だと思うが、優先順位だけでは実際の生活の中で大変な思いをされている方もいるという現実があります。優先順位の基準はもちろん必要だと思いますが、例外も柔軟に対応できるような制度も今後視野に入れるなど、制度をより良いものにしていくためにご尽力いただけると保護者として大変ありがたく思います。

○ 時田会長

今の話について、前回の時も兄弟の話が出ました。今の優先順位で行政の方は基準を決めているが、現状の基準の説明があって、その現状の中での課題ということで、今の問題の部分も含めて、今後指数のあり方については考えていくということの説明で良かったですか。

● 事務局

今の色々なご意見も含め、今後の優先順位のあり方等をできるだけ家庭環境に踏み込んだ形での調整の設定を考えていきたいと思えます。例外というところで、配慮する必要がある世帯には、例えば調整指数の中に入れていくなど、入園調整の課題が解消できればよいと考えています。

○ 委員

主任児童委員をしております日下部と申します。よろしく願いいたします。

今の西川委員のご意見に本当に同感で、平成30年度第2回目の会議で谷委員がそのようなご意見を言われたと思えます。その中の1つですが、例えば3歳、4歳で保育園へ行っていて、下が生

まれたので一度退園しなければならない。次に下の子をまた2人や3人を預ける場合に、色々な保育園になってしまう場合があり、非常に生活・子育てがやりにくい。最初に入っていたということで、既得権という言い方はあまり良くないかもしれませんが、同じ保育園へ下の子も入れてもらえるような例外というのか、特に考えて頂きたいと強く要望します。

● 事務局

今のご意見を頂きました3歳未満児の方が途中退園してしまった場合もケースとしてありますので、このような場合また改めて入る場合に調整指数など配慮する世帯としての捉え方をするというのも1つの考え方だと思います。このようなケースの場合も調整指数に組み入れていくのかということも含めて、総合的に考えていきたいと思っています。

○ 時田会長

ぜひとも子育てしやすい清須ということですので、その辺のところを十分頭に入れて考えてもらいたいということですので、よろしくお願いいたします。

● 事務局

1点だけ補足をさせていただきたいと思っています。現在本市では、待機児童0を目指して一生懸命対応しているところです。前回の資料で大変申し訳ありませんが、現状3歳未満児の希望が多く、実際今の状況では、0-2歳が全体の約27%（27年度）→全体の31%（30年度）を占める状況になってきています。先程も委員の方からご意見を頂きましたように、社会情勢や女性の社会進出など、育児休業明けで職場に復帰される方も多く、昔より同居をされている方も少なくなってきたり、保育を希望される方が多くみえます。本市としても職員配置を多くし、できるだけ多くの方を第1希望の保育園でお受けできるような体制を取ってはいますが、どうしても施設規模等の条件がありますので、保護者の方のご理解のもと、第2希望の保育園などをご紹介している現状です。現状の体制をご理解いただきながら、調整指数の見直し等を行ってまいりたいと考えております。また、委員の皆様のご意見を参考にさせて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○ 時田会長

よろしくお願いいたします。その他ご意見ありますでしょうか。議事以外でも結構です。よろしいですか。では、事務局の方で何かありますでしょうか。

● 事務局

皆様の貴重なご意見ありがとうございます。先程お話をさせていただきましたように、子育て包括支援センターを始めたところではありますが、なかなか保護者の方から役所の方へ出向いて相談をしにくいということもあると思います。保護者の方が市民の身近のボランティア団体の皆様の方へ素直なご意見等を伝えてみえると思いますので、今回の委員の皆さまのご意見を参考にさせていただきますながら、今後の子育て支援に取り組んでいきたいと思っております。

また、今回、アンケート調査でのご意見を頂いた修正箇所等については、時間の都合上、私共のほうでさせていただきますので、ご理解の程お願いいたします。

最後に紹介が遅くなりましたが、今回このアンケート調査・計画策定に協力をいただいておりますサーベイリサーチセンターの方にも出席をしていただいております。

今後、修正後のアンケート調査を保護者の方に発送し、回収し集計結果が出たところで、第2回目の委員会を開催させていただきます。その時には、皆様のご出席をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○ 委員

アンケートについてですが、説明いただいた満足度に関する回答とは、現状の悩みに対して予測した仮説であって、そこからこのような大規模なアンケートをするわけですね。正しいのか、もっと違ったニーズがあるのか、その時に今回のアンケートは偏っている気がします。子育て支援、保育に関しても、年齢でしたら学校に入った時に、周囲への不安だったり、友達と上手くいくのか、コミュニケーションはどうかとか、1つ1つが稚拙な項目であったり、保育の項目であったら、仮説など、人に対してなのか、施設の充実なのか、保育所に対してなのか、それとも先生の対応の仕方なのか、そういった部分の子育てプランに関して、土日を利用したいのか、何故土日を利用したいのか分ければ対応の仕方も違って来るかもしれない。子供と二人でいることが嫌だから預けたいのか、仕事があって預けたいのか、その部分を掘り下げて聞かないと対応が違って来ると思います。

もう少し大事な要因に対し、知的な項目もあった方が、実のあるアンケートか実際のニーズにあった内容が考えられるのではと思いますがどうでしょうか。

● 事務局

調査に追加項目として入れさせていただく内容を検討していきたいと思えます。

○ 時田会長

追加できるところはしてください。

本日の議題は以上で終了させていただきます。

● 事務局

貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。よりよい計画を策定していきたいと思えます。本日は本当にありがとうございました。

上記のとおり会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

委員 村瀬 正守

令和 年 月 日

委員 日下部 壽子